

論点の整理と検討の方向性について（たたき台）

1 基本的な考え方

- 次のような視点から臨床研修制度及び関連する諸制度等のあり方を見直してはどうか
 - ・ 卒前・卒後教育を一貫して見直し、臨床研修の質を向上させる
 - ・ 大学が担う地域の医師派遣機能を考慮しながら、医師の地域偏在や診療科偏在を是正し、医師不足への対応を行う

2 地域偏在への対応

- 地域の医師確保・定着を促進するために、研修医の募集定員に地域別の上限を設定するなど、マッチング方法を見直してはどうか
- 臨床研修における地域医療の研修を一定期間必修としてはどうか

3 診療科偏在への対応

- 臨床研修は、内科、救急など特に基本となる診療科を研修する1年間を主体としてはどうか。その後は将来専門とする診療科に対応することができるようにしてはどうか。
- また、研修プログラムの設定にあたっては、医師不足の診療科を選択する研修医が確保できるような対応を含めてはどうか

- 臨床研修の開始時点に、将来専門とする診療科での研修も選べるようにしてはどうか

4 臨床研修の質の向上

- 臨床研修の目標に対する研修医の到達度を評価する仕組みが必要ではないか
- 臨床研修の質をより向上させるため、中心となる研修病院の施設基準を見直すとともに、その基準に適合しない病院は、中心となる研修病院と協力して研修を行う体制としてはどうか
- 研修医の給与格差が甚だしくならないような対策を行ってはどうか

5 一貫した医師養成

- 卒前の臨床実習と卒後の臨床研修の到達目標が一貫したものとなるようにし、併せて、医学教育のカリキュラムの見直しを行うべきではないか
- 共用試験（CBTやOSCE）の合格水準を標準化するなどして、医学生の臨床実習を充実してはどうか
- 臨床研修修了後のキャリアパスが明らかとなるように生涯教育のあり方を示すことが必要ではないか
- 卒前の臨床実習の充実の状況を踏まえながら、医学生の医行為の取扱いや国家試験の内容を見直すこととしてはどうか